



基本法改正等に関する学習会・全道農民集会を開催

道農連は3月27日、札幌市の自治労会館にて「食料安全保障を踏まえた農業の持続可能な基本法改正に向けた学習会」と「農業の持続可能な基本法改正等を求める全道農民集会」を開催し、全道の地区・市町村組織の役職員ら約300名が参加した。学習会では、東京大学大学院農学生命科学研究科の安藤光義教授を講師に招き、「基本法改正の批判的検討ー検討の経過と課題・問題点ー」と題して講演した。

また、学習会終了後には、今通常国会で提出される農業関連法案には多くの課題が山積していることから全道農民集会を開催。大久保明義委員長の主催者挨拶後、米・水田農家の廣田好彦氏（東川農連委員長）、畑作・野菜農家の越後功氏（後志農連委員長）、酪農家の横田光彰氏（釧根農連委員長）からの意見表明で、農業の維持・存続や食料安全保障の強化に資する法改正とともに、生産現場に寄り添った新たな政策の構築等を訴えた。続いて、梅田俊則副委員長より「持続可能な農政を確立する基本法改正等に関する決議」を提案し満場の拍手で採択され、出嶋辰三副委員長の団結ガンバロウで盟友の意思結集を図った。

第1回業態別対策委員会等で春闘対策方針などを協議

道農連は3月21日に第1回米・水田農業対策委員会、第7回地域水田農業のあり方検討委員会、27日に畑作・野菜対策委員会、28日に酪農・畜産対策委員会を開催し、対策副委員長の選出や、2024年度春闘対策方針などについて協議した。今後は、第2回業態別対策委員会で春闘対策の提言項目を取りまとめ、6月の第3回執行委員会で最終決定し、7月中下旬に中央行動を展開する。

なお、各委員会の副委員長は、米・水田農業対策は岡田裕章氏（風連町農連）を、酪農・畜産対策は梅田俊則氏（北見地区農連）を、畑作・野菜対策は竹迫真樹氏（全十勝地区農連）と山田孝氏（全上川農連）を選出した。

3月の活動記録（上記以外）

- 5日 道農産協会てん菜立会人代表者意見交換会（オンライン）
- 6日 アフリカ支援米に関する打合せ
- 12日 道農業青色申告会事務局会議
- 15日 水活見直しに係る総括WG
- 21日 水活見直しに係る関係機関連絡会議
- 22日 天北地区農民連盟定期総会

4月の活動予定

- 4日 衆議院農林水産委員会参考人意見陳述
（中原書記長）
- 11日 道農業青色申告会定期総会・研修会
- 12日 三役会議、第2回執行委員会
- 23日 てん菜・てん菜糖合理化検討委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（TEL011-241-5416）まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

